

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月3日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	一般社団法人千歳観光連盟		代表者名	会長 勝俣 克廣
担当者部署	事業推進部		連絡先電話番号	0123-24-8818
担当者役職		担当者氏名	連絡先E-mail	
住所	066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1			

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	千歳市	連絡先部署	観光スポーツ部	観光企画課
担当者氏名		連絡先電話番号	0123-24-0377	連絡先E-mail

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	シェアリング エコノミーの伝道は基より、各テーマに沿ったディスカッションを高めるためのファシリテーターとしての役割の他、高い構成力とそれを裏付ける豊富な知見を持ち合わせておられます。併せて同様にこれまでのオーディエンスより高い評価を得られております。(事務局聴取)
アドバイザーへの要望事項	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月27日	12時30分	21時30分	60	480
3-2. 派遣場所	会場名	千歳アルカディア・プラザおよび支笏湖 氷濤会場		最寄駅	JR南千歳駅
	所在地	北海道千歳市柏台南1丁目3-1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩3分			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	一般社団法人千歳観光連盟 及び地域連携DMO	122 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	1 人材の確保 2 事業予算の獲得とKPI (定量的効果の取得) 3 カウンターパートナーとの目的の共有 4 具体的な施策とアイデア(発送)の欠如、およびオペレーションの構成	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	2020年度におけるシェアリング エコノミーを利用した施策の履行 ① KLOOKを利用した物販の販促 ② レンタカーおよびキャンピングカー事業への応用 ③ 千歳観光連盟 北海道観光ステーションHP 上での観光メニューの訴求 ④ 地域連携DMOを繋ぐ観光推進での応用 ⑤ その他	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光による地域の活性を目的とするシェアリング エコノミーの広がり(考え方)について</li> <li>シェアリング エコノミーの汎用性</li> <li>プログラムの構成から登壇者の選定及び各種の調整</li> <li>情報の配信</li> <li>行政との連携の深化推進</li> <li>誘客の手法</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>シェアリング エコノミーを活用した具体施策の展望</li> <li>シェアリング エコノミーの汎用性を活かした習熟度の醸成</li> <li>モチベーションの高揚</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <a href="https://note.com/yuichimorito/n/n92711d1db78d">https://note.com/yuichimorito/n/n92711d1db78d</a>	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材の確保とマネジメント</li> <li>・事業予算の確保</li> </ul>
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>セミナーを終えた後、オーディエンスより模造紙に書き込む形で忌憚のないご意見や要望をお聞きする手法を導入したため。</p>
5-3. 今後の計画	<p>最も当てはまるものリストより選択下さい</p> <p>④予算以外で、今後取組む事項がある</p>
事業の最終的な目指す姿	北海道観光ステーション(HTS)として新千歳空港を拠点とする旅の駅舎を目指しながら、各種の観光メニューを提供する事で自走できる観光DMOを確立する。

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

**CHITOSE SHARE SUMMIT 2020**

北海道の玄関から始める  
シェアリングエコノミーの未来

Jan 27, 2020

**第1セッション シェアエコ・観光**

- 森戸 裕一 (内閣官房シェアリングエコノミー推進課)
- 津原 佳明 (ANAホールディングス デジタル・デザイン・ラボ チーフディレクター)
- 湯崎 万由子 (BEYOND 代表取締役)

**第2セッション シェアエコ・モビリティ**

- 西岡 誠 (九州商船観光活性化コンソーシアム 代表)
- 大内 真史 (子比ふえん株式会社 ビジネス開発部門長)
- 成田 智也 (マドラー 代表取締役)

**第3セッション シェアエコ・働き方**

- 大瀧 亮 (Kabuki Style Co-CEO)
- 永田 直哉 (おてつたび 代表取締役)
- 廣瀬 悠史 (NoMap 事務局長)



**異業種間・地域間・世代間・政策間連携  
で新しい次世代シェアリング経済圏をつくる**

デジタルが前提となるビジネス環境下で、積極的にデジタル活用による地域課題解決に取り組む地域を支援する。具体的にはシェアリングセミナーの開催、シェアリングサミットの開催、地域の継続的な活動の支援、地域間連携による広報力アップ・新規事業創造の支援などを行う。

- シェアリングセミナー開催地域
- シェアリングサミット開催地域
- 今回のシェアリングサミット (北海道)

A map of Japan is shown with several regions highlighted in color: Hokkaido (yellow), Tohoku (blue), Kanto (red), and Chubu (blue). A large pink circle is overlaid on the map, centered on Hokkaido.